

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		旧高久家住宅の管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020502000914
総合計画の施策名		0205 文化財の保存・活用				単独/補助	単独	所属課	060201
政策体系	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				主要事業	対象外		都市整備課
	施策名	05 文化財の保存・活用				市長マニフェスト	対象外		
	手段名	02 ②文化財の活用				未来PJ事業	対象外	グループ	都市政策
						合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	08	04	05	01	00	伝統的建造物群保存地区推進事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠		歴史まちづくり法・桜川市旧高久家住宅の設置及び管理に関する条例・同施行規則							

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】 旧高久家住宅の貸し出し、管理業務を行う。 施設は、条例により有償で営利目的に使用できる。 建物を保存整備したことにより貸し店舗等の地域活性化を期待できる施設として活用されている。</p> <p>【事業費の内訳】 施設の電気料、上下水道使用料。</p>	申し込み受付、光熱水費の支払い、使用料の徴収。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
申し込み受付、光熱水費の支払い、使用料の徴収。	貸出件数	件	5.00	6.00	7.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
使用者・使用団体	施設利用者数	人	75.00	336.00	125.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
文化財建造物の公開・活用	貸出日数	日	105.00	59.00	175.00	0.00	0.00
	公開日数	日	359.00	359.00	359.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	28	46	0	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	331	302	373	0
	事業費計 (A) 千円	359	348	373	0	
人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間 時間	30.00	20.00	20.00		
	人件費計 (B) 千円	88	59	59		
	トータルコスト (A)+(B) 千円	447	407	432		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)		30年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	74	11 需用費	99
	14 使用料及び賃借料	274	14 使用料及び賃借料	274
	合計	348	合計	373

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	旧高久家住宅の管理運営事業	事務事業No.	20502000914	所属課	都市整備課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度に旧高久家住宅を公有化したため。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	常時開放して欲しい。桜川市の物産などを紹介する場所にして欲しい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	敷地全体の整備が未了であることや、住宅用途以外での使用に法的な制限があることから、長期利用を検討しつつも利用実施に至らなかった希望者が複数あった。全体整備を進めるとともに、指定管理者制度の導入など、より自由度の高い利用方法を提供する必要がある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	重要伝統的建造物群保存地区内にある地域活性化を目的とした施設となるため
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	重要伝統的建造物群保存地区の今後の地域活性化を担う施設であるため
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	将来は、維持管理費の削減のために指定管理者制度を導入すれば向上の余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	重要伝統的建造物群保存地区の中でも中心地であって、今後の地域活性化を担う施設であり、休廃止により常時戸締りとなる空家が増加し、活性化の妨げとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	指定管理者制度の導入
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	現在の事業費はほぼ義務的経費となっており、活性化には業務時間、事業費ともに増加させる必要がある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	利用制限を設けておらず、費用も光熱水費と土地借上料に相当する分としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は直営以外での民間利用があり、活用の幅が広がってきている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
指定管理を含め、自立した活動のできる一定規模の民間団体が成長すると、活用の幅が広がる。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>